

浜松観光ボランティアガイドの会

## 天守前広場に「浜松徳川武将隊」参上！

徳川家康公が17年間守り抜いた浜松の魅力をお伝えしておもてなす浜松徳川武将隊が、毎週日曜日13時から浜松城天守前広場に定期登城しています。浜松市マスコットキャラクター（ゆるキャラ）の出世大名康くんと出世法師直虎ちゃんも一緒に、皆さんをお出迎えます。

浜松徳川武将隊を主催する「出世の街浜松プロジェクト」は、秋元健一氏がNPO 法人代表、浜松の歴史啓蒙と観光のお手伝いを進めるかわら、徳川宗家19代徳川家広氏、歴史家磯田道史氏より歴史上のご指導をいただいています。家康楽市を開催、近隣（名古屋、岐阜、岡崎）との交流イベント参加、ゆるキャラコスチュームの貸し出し手配、そして浜松徳川武将隊は以下の理念使命のもと浜松の魅力を発信致しています。



家康くん直虎ちゃんとの記念撮影の順番待

### ＜理念＞

浜松を愛する武士(モノノフ)集団として「誇り」を持ち、観光スポットや戦国時代の浜松の魅力などをお伝えして、心に残る「おもてなし」に努め、浜松の価値観を高めるよう尽力致します。

### ＜使命＞

- ①埋もれている歴史や伝説をより多くの皆様に分かりやすく紹介します。
- ②常に全力の殺陣、演武、談話をもって浜松を好きになっていただきます。
- ③浜松城、元城町東照宮、頭陀寺松下屋敷など歴史スポットを伝え広めます。
- ④武将隊一人一人が子供達の人気者となり、希望や勇気を与える存在になります。
- ⑤浜松を代表する武将隊として、地域を盛り上げます。



武将隊との記念撮影

### ＜隊士紹介＞

井伊直虎、井伊直政、酒井忠次、本多忠勝、榊原康政、松下清景（戦神・白虎）、松下常慶（軍神・朱雀）、松下おりん（闘神・玄武）。本職は地元の会社員、経営者、バレエ教師等です。



皆々様！こんにちでは御座います！浜松徳川武将隊・御用係せんべゑと申します。毎週日曜日、昼時になると、ここ浜松城天守前広場はすでに沢山のご来城者であふれております。小職は、お客様へのご挨拶とともに、この後13時から「出世大名康くんと出世法師直虎ちゃん」、そして浜松由来の武士(モノノフ)徳川家康を筆頭に「浜松徳川武将隊」の面々が登城して来る旨をお知らせしております。

われら浜松徳川武将隊は「家康くん、直虎ちゃん」を御支えしながら、この浜松城や浜松の歴史とともに、城内の美しいお庭や、築城当時を思わす野面積みの石垣のご紹介などをいたします。あわせて、多くの出世人を世に送り出した浜松の素晴らしい食材「浜松パワーフード」のご案内もさせていただきます。温暖な気候と美味しい食をご堪能いただき、浜松に来て良かったとまたここに帰って来たい・・・と思っただけのように、浜松城での楽しいひとときを演出し、さきやかではございますが、皆様のおもてなしをさせていただきたいと思っております。

どうぞ！毎週日曜日午後1時には、浜松城天守前広場にお集まりくださいますよう！

\*尚、時節柄、感染症拡大防止を念頭に安心安全を重視して、皆様をお迎えしております。

「大出世もっと大出世!!」声を合わせて盛り上がり武将隊とノリノリの記念撮影もあります。“百聞は一見に如かず” 武将魂あふれる殺陣、演武を是非ご覧ください。今回の取材にご協力いただいたプロジェクト副理事長の庄司博さんに感謝致します。

広報部 藤田礼子（中ブロック）

私の庭によくこそ、ひとりで全ての作業をこなしています。下手な横好きです。始めて20余年が経ちました。愉しんでやっています。生まれ育った環境のせいか、緑ときれいな花を咲かせるのに情熱を燃やしたくなるのです。その頃、次男が大学進学で家を出ることになり、空の巣症候群になりそうな私をみて、姉が庭に植木を植えたらと三種類の空木(ウツギ)の苗木をくれました。それが始まりです。家の南側の駐車スペースの隅を少しずつ開墾して、花壇スペースを増やしていきました。植栽に良い時期には、浜北の緑花木センターに出かけては苗木を購入し、自力で穴を掘り植栽していました。枯らすこともありました。嫌にはなりません。

始めて5年が経ったころ、ずっとやりたかったバラの栽培に踏みきりました。島田市ばらの丘公園で一本の苗木(ピース)を手に入れ、鉢植えしました。手探り状態で始めたのですから沢山のきれいな花が咲きません。失敗の連続から見えたのは、一から植物に関する事を勉強しなくてはと自覚し、専門雑誌を何冊も購入しました。また一番の先生はEテレ”趣味の園芸”です。ビデオ録画して、繰り返し講師である園芸研究家の言葉をメモしました。植物の習性、植栽場所・日当たり・土壌・水やり・肥料・剪定方法等を少しずつですが学んでいきました。バラ苗はバラ専門店から通販で購入します。庭の東部分にはバラの殿堂入りの黄色の”グラハム・トーマス”、門柱の南側には



グラハム・トーマス

イングリッシュローズの”テス・オフ・ザ・ダーバービルズ”を植えました。今も元気で毎年百くらいの花をつけます。

昨今では少し離れた保育園の子供たちが花の咲く4月から5月ころには散歩で来てくれます。今日、時々見かける高齢女性の方が「いつもこの道を通るのよ。お花がきれいに咲いていますね」私は「バラの季節になりましたら、庭の奥まで案内しますね」と会話が弾みました。こんなやりとりが嬉しいのです。庭の手入れをする励みになり、嬉しさがふつふつと湧き上がります。

10年位前から会社同期の女子会をわが庭でやるのが恒例になっています。浜松市と新居町に住んでいる方々と私を含めた5人が年一回の同窓会をします。私が天候の



テス・オフ・ザ・ダーバービルズ

良い日を選びメールすると万障繰り合わせて集合します。

(昨年は中止)パラソルの下でスイーツと紅茶を飲みながら語り、独身時代に戻ってしまいます。それからガイドの会の中ブロックの女子会も何回かしました。

さて4月から時間にゆとりができ、もっと本腰を入れようと思います。ある園芸の講座を受講した際に講師の先生が「他人の庭を見学してガーデナーさんとお話をして、そこからヒントが得られますよ」と教えてもらいました。浜松市にはオープンガーデンの会があり、冊子「浜松花と緑の庭めぐり」を参考に今年は精力的にお庭めぐりをしてガーデナーさんに教を乞うつもりです。

今から楽しみです。 中ブロック 柳本幸子



天気が良い日にはパラソルの下で女子会を

## 駅北と繋がりました！ 横断歩道完成

一昔前までは、歩道橋に地下道と車優先の浜松でしたが、近年高齢者や障害者にも優しい町づくり、バリアフリー化がされていて、市民の念願だった浜松駅から郵便局にそのままアクセスできる横断歩道が完成しました。浜松駅の観光インフォメーションセンターでのお当番でも、地下道通ったり遠回りしたりと、徒歩でのお城までのアクセスには苦慮してバスをお勧めしていましたが、簡単にご案内できるようになりました。帰りはアクトタワーを目印に戻って来てくだされば大丈夫です。街路沿いの花壇には花の町・浜松を象徴する花々で美しく彩られています。 広報部 金原里枝(南ブロック)

2015年6月末から2018年3月末までの2年9カ月、夫の中国赴任に伴い中国蘇州で過ごしました。中国にいる間、時間がある限り各地を旅しました。最近の中国は高鉄（新幹線）が各都市を結んでいるので、多くの場所へ比較的簡単に行けます。料金も驚くほど安く、座り心地も一等席ならかなり快適です。武漢へは蘇州から新幹線で約5時間、料金は片道8千円ほどでした。



武漢大学の桜並木(葉桜) いましたが、八重桜が見頃でした。

今回新型コロナウイルスの流行で残念ながら一躍有名になった武漢ですが、中国では歴史も古く、軍事上の要衝であったことから、とても重要な都市です。殷の時代からここに町が作られたと言われています。また、1858年の天津条約によって開港したため、イギリス、ドイツ、ロシア、フランス、日本の租界が設置された国際都市で、その面影は今も町の至る所に残っています。中国最後の清王朝を滅ぼすきっかけとなった辛亥革命の口火を切ったのも武漢です。蒋介石率いる国民党時代には首都にもなっています。日本ではそれほど知られていないかもしれませんが、中国ではもともと有名で重要な都市だったのです。

さて私達が武漢に行ったのは2017年4月上旬でした。武漢大学の桜が大変有名だったので、まず桜を見に行きました。大学構内はとても広くて自由に見学でき、沢山の人が桜を見に来ていました。ソメイヨシノは葉桜になって



黄鹤楼の前で

武漢で一番有名な場所と言えば、黄鹤楼(こうかくろう)です。最初に建てたのは三国時代呉の孫権と言われています。日本人には李白の詠んだ詩『黄鹤楼にて孟浩然(もうこうねん)の広陵に之くを送る』などで知られています。関羽と並ぶ中国の英雄、南宋の岳飛の像もあります。たびたび戦火に見舞われ、再建を繰り返してきましたが、現在の黄鹤楼は1985年に再建されたもので中にエレベーターがあります。観光客は階段で上るのですが、人がいっぱい階段が渋滞して、上るのに時間がかかりました。塔は山の上立っているのので、町のいろいろな場所から見上げることができます。

黄鹤楼のある山の下に長江が流れており、黄鹤楼から長江を見下ろすことができます。また黄鹤楼の近くから対岸に向けて鉄でできた長い武漢長江大橋があり、歩いて渡ることができます。この橋は長江にかけられた初めての橋で、線路、道路、歩道に分かれていて、簡単な見学ツアーも用意されています。しかし、2キロほどあるので、ルートを考えて渡らないと後で困ることになります。もちろん、地下鉄もバスも整備されているので、市内の移動に不便はありません。

中国の伝説上の三人の王、堯(ぎょう)、舜(しゅん)、禹(う)はご存じでしょうか？特に禹は治水工事で名高いです。禹が治水工事を行った場所が武漢であったということで、武漢の長江沿いには禹をテーマにした大きな親水公園がありました。公園の至る所に禹が治水工事を行ったときの物語のレリーフがあり、一つ一つ見ていくのが面白かったです。例えば、禹が治水工事を行うときには熊になって怪力を発揮していたそうです。中国の伝説はかなり奇想天外です。



熱乾麵と桂花糊米酒

他にもキリスト教の教会のような古徳寺、中洋折衷の建物晴川閣(せいせんかく)、昔ながらの屋台が並ぶ戸部巷(こぶこう)、租界にはヨーロッパのような雰囲気のカフェ、ブランドショップが軒を連ねるモール、上海雑技団のような武漢のショー、おしゃれなフードコートには美味しい抹茶ソフトや抹茶ラテ・・・と想像以上に近代的でおしゃれな町でした。

最後に武漢の美味しい物を紹介します。滞在中何度もリピートして食べたのが、「蔡林记(さいりんき)」という店の「热干面(熱乾麵)(ルーガンミエン)」です。茹でた小麦の麺に胡麻だれ、ザーサイ、ネギなどを混ぜて食べます。中国の最高の麺と言われています。写真の見た目は良くありませんが、本当に美味しいです。もう一つ豆皮(ドウビー)は、緑豆をペースト状の下地にして、それに餅米、卵、肉、エビ、キノコ、タケノコなどを包んで焼いた物で、こちらもいくらでも食べられます。さらに、桂花糊米酒(グイファファーミージュウ)という飲み物も気に入りました。桂花というのは金木犀の事ですが、金木犀の花で香り付けをしてある、白玉入りの甘酒葛湯のような飲み物です。ほのかな優しい甘さが後を引き、リピートしました。蘇州に戻ってきてから、これらの食べ物をまた食べたくりましたが、蘇州の武漢料理の店ではやっぱり現地の味と違い、がっかり。また熱乾麵を食べに武漢に行きたいです。

# 新入会員の入会動機



若い頃からNHK番組プラタモリのような地域の歴史や地質に何となく興味があり、時折、臨地学習のイベントに参加していました。中でも浜松史跡調査顕彰会の山下孝先生が講師として案内くださる臨地学習は、郷土の成り立ちがよく分かり、毎回新たな発見のある楽しいものでした。例えば、浜松城の石垣が主にチャートであることを知ってはいましたが、チャートの塊のような舘山寺舘山や三ヶ日大崎半島などに行き、自分の目で確かめなければ分からないことが多くありました。現地を訪れて、近辺に「秩父帯」という大昔の海底でできた地質構造と浜名湖の水運が大きく貢献し、浜松城の石垣ができたと理解できました。

そのような臨地学習で偶然ご一緒した方が、この会のことを教えてくださり、退職を機に早速応募させていただいた次第です。会の皆様から様々なお話が聞けることを楽しみにしています。そして、浜松を訪れた方に「なるほど、そうだったのか」と感じてもらえるような観光ガイドができたと思います。

南ブロック 馬淵豊

観光ボランティアを希望した理由は、人とおしゃべりする機会がもてるだろうと考えたからでした。まだコロナ禍もない一昨年8月にハローワークに行き、定年後の生活を相談員と考えました。「何かあるでしょう」と言ってくれ、すっぱり退職しようと思ったのですが、昨年3月末に定年を迎えた時の状況はコロナ禍ですっかり変わってしまい、社会に出そびれてしまいました。

観光ボランティアのことはご近所の西ブロックの宮下さんから伺っていて、仕事が無くなったらやれるかとは思っていたのですが、ちょうど1月から講座が開かれることを知り、時間があるうちに講座だけでも修了しておこうと思い参加しました。在職中に行き届かなかった家の片付けやら何やらしていて、そろそろ人恋しい時期でもありました。

講座を受けてみると、今まで何となくばらばらだと思った私の興味が、実は観光ガイドの仕事と合致していたことに驚き、今後の生活の張り合いになると思えてきました。

勉強頑張ります。よろしく願いいたします。

西ブロック 前原福子

## 3月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

### 《浜松城》

複数回来場のあった団体			
	* クラブツーリズム	8回	224名
3日	水	磐田市立竜洋東小学校	33名
5日	金	なかざわこども園	26名
10日	水	なかざわこども園	26名
		浜松保育園	40名
12日	金	浜松市立追分小学校	29名
13日	土	山梨県立都留興譲館高校	21名

14日	日	カルチャークラブ旅行サロン	42名
29日	月	(株)一畑トラベルサービス	24名
		*上記以外に14名未満の団体5団体	37名

### 《犀ヶ崖資料館》

14日	日	ふるさと濱松再発見	42名
-----	---	-----------	-----

### 《浜松まつり会館》

\* 団体入場者なし

## はままつ案内人会報 225号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
 〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)  
 TEL & FAX 053-456-1303  
 メールアドレス mail@hama-svg.jp  
 ホームページ http://www.hama-svg.jp/



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん

はままつ案内人

検索